

# 学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。  
URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.sch/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校  
令和4年1月7日(金)  
緑区十日市場町1392番地-1

電話 : 981-0420

FAX : 983-1694

## 自分で考え自分で動く力の大切さ

校長 平田 あや

新年あけまして、おめでとうございます。

令和4年が明けました。皆様には、ご健勝にて新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」です。「壬」は十干の9番目、生命の循環で言えば終わりの位置に近く、次の生命を育む準備の時期を表しているそうです。「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の発芽の状態」を表し、春の胎動一強く大きく成長することを感じさせる漢字です。今年も、干支の意味のように、冬が厳しいほど、春の芽吹きが生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるよう願います。

さて、皆様は年末・年始をどのように過ごされたでしょうか。実は、私の教員人生のスタートは、箱根町でした。その縁から、毎年1月2日、3日に行われる「箱根駅伝」の観戦をとっても楽しみにしております。コロナになる前は、よく浴道で選手たちを応援しました。己の限界に挑戦し、1本の襷を必死の思いでつないでいくその姿に、たくさんの感動をもらいました。

今年は、青山学院大学が6度目の総合優勝を飾りました。この常勝校を率いる原晋監督は、レース後の会見で「学生たちは自ら立つ『自立』、自分を律する『自律』を持っている。自分に足りないものは何か、課題、目標は何かというのを一人ひとりが考えて実行するシステムがチーム全体で浸透している。それが強さだ。」と勝因を語っていました。ただ人の指示を待つのではなく、自分で考え自分で動く力の大切さを説いていたのです。

この言葉は、今、私たちが取り組んでいる「主体性」や「自ら学び考える姿勢」を育む教育にも通ずるものが大きいと感じました。授業中、教師は「この問題を解決するには、どうしたらよいか。」と子どもたちに問いかけます。既習事項を振り返る、資料集やiPadを使って調べる、友達の考えから手がかりをつかむなど、子どもたち自身が、それぞれの解決方法を選択して取り組んでいる場面をよく見かけます。昨年導入されたiPadは、思考の交流を通して、さらに各自の思考を広げたり、協働して問題を解決したりするツールになっています。

また、原監督は「その子の内面に潜んでいる能力をいかに引き出してあげるかが大切。」という言葉も残されています。我々教師も、子どもたち一人一人に備わっている能力をしっかりと見極め、どうやってその力を引き出していけばいいのか、試行錯誤しながら取り組んでいきたいと思えます。

今年は、コロナ禍で迎える2年目の新年となりました。新しい変異株の流行も見え始め、新型コロナウイルス感染症は予断を許しません。より一層気を引き締め、子どもたちの安全・安心を第一に感染症対策を行っていきたく思っております。まだまだ先行きの見えない中ではありますが、本年も、「チーム十小」を合言葉に、教職員一丸となって教育活動を行ってまいります。引き続き、ご理解ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。